

PCM-282  
電力量計  
取扱説明書



## はじめに

本製品は、高集積のマイコンチップと専用の電力計測チップを採用し、高精度の電流センサーと LCD ディスプレイを組み合わせることで、電気機器の総合的な監視を実現しています。

## 安全上の注意事項

- 1.電化製品のパラメータを測定するために、電力量計を電源ソケットに差し込んでから、電化製品を電力量計に差し込んでください。電化製品の動作電圧、電流、電力、その他のパラメータを検出し、電化製品の動作状況やエネルギー消費を明確にすることができます。
- 2.ご使用になる前に、シェルのプラスチック部分、特に接合部周辺の絶縁箇所には亀裂やショートがないかを確認してください。破損している場合は使用しないでください。
- 3.正常に動作しない場合は、修理のために製品を返送してください。
- 4.爆発性ガス、蒸気、粉塵の近くで使用したり、湿度の高い場所や水のある場所に置いたりしないでください。
- 5.本製品と一緒に使用する電気製品の負荷電力は、本製品の定格電力（2200W）を超えないようにしてください。
- 6.製品を勝手に開けたり、電気分解して確認したりしないでください。

## 操作方法

### 1.機器の起動・停止

本製品を電源ソケットに直接差し込み、電源を接続すると本製品が起動します。電源を切ると機器が停止します。

### 2.バックライト設定機能

“SET”を 2 秒間長押しすると、“CUR”表示のインターフェイスでバックライト設定のインターフェイスに入ります。インターフェイスに入ると“LEd”と表示され、“ON または OFF”が点滅します。（図 1 参照）

この時点で、“▲”または“▼”を瞬間的に押すことで“ON/OFF”を選択でき、選択後に“OK”を瞬間的に押すと、設定が終了となります。“OFF”を選択した場合、10 秒間ボタン操作がないと、バックライトは自動的にオフになります（工場出荷時設定）。“ON”を選択した場合、バックライトは常にオンになります。

図 1



### 3.計測・操作

#### (1) 測定モード

測定モードでは、“▲”または“▼”を押すことで、動作電流、電圧、電力、電気消費量、二酸化炭素、放電や力率などを自由に確認することができます。「WATT→CUR→VOLT→FREQ→CT→POW→CO2→PT」となり、“▲”または“▼”を押すと、チェック順序が逆になります。

## (2) 電力消費量・電力消費時間

"▲"または"▼"を押すと、累積電気量監視モード（図2参照）および累積時間監視モード（図3参照）に切り替えることができます。測定表示範囲は、0.00～99,999KWh（電力消費量）および 0～99,999 分（電力消費時間）となります。

測定した電力消費量と電力消費時間は自動的に保存され、長時間の停電でも累積測定値が失われることはありません。

### ★累積電気量と累積時間のクリアランス：

機器を累積電気量と累積時間のインターフェイスにそれぞれ切り替え、"SET"を2秒間押すと、累積電気量と累積時間が点滅します。"OK"を押すとリセットされます。

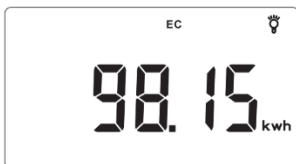


図 2



図 3

## (3) 電力・力率

"▲"または"▼"を押して、電力監視モード（図4参照）および力率監視モード（図5参照）に切り替え、測定表示範囲は 0.02～2200.0W（電力）および 0.001～1.000（力率）となります。



図 4



図 5

#### (4) 電源の電圧・周波数

“▲”または“▼”を押し、電圧監視モード（図 6 参照）と周波数監視モード（図 7 参照）に切り替え、測定値の表示範囲が 180.0～260.0V（電圧）と 40.00～60.00Hz（周波数）になります。



図 6



図 7

#### (5) 電流・電力消費量における CO<sup>2</sup> 排出量

“▲”または“▼”を押し、電流監視モード（図 8 参照）と CO<sub>2</sub> 表示モード（図 9 参照）に切り替え、測定表示範囲が 1.000～10.000A（1A 以内の場合は mA と表示）、0.00～555,000kg（CO<sub>2</sub>）となります。



図 8



図 9

#### (6) 測定値の限界超過アラーム設定

電力監視モードで、“SET”キーを 2 秒間長押しすると、LCD の千桁が点滅し、電源アラームリミットの設定に入ります。“▲”または“▼”を押しして値を調整し、千桁の調整が終わった後“OK”を押し、百桁の調整を行い、最後に“OK”を押しして設定モードを終了します。設定値が 2200W を超えないように（工場出荷値は 2200W）注意してください。そうしないと、図 10、11 のように“Err”と表示され、リセットする必要があります。電化製品の電力が電力アラーム上限値の設定値を超えた場合、バックライトが点滅し、ユーザーに電力が上限値を超えたことを知らせます。



図 10



図 11

## 適用事例

1. 各種の省エネ家電を販売する際に、電力計測を使って家電の省エネ状況をユーザーにアピールすることができます。
2. 一般のユーザーでは、電力・電気量測定機能を使って、家庭用電化製品（冷蔵庫、エアコン、洗濯機、パソコン、扇風機、省エネランプなど）のさまざまな動作状態をテストし、各電化製品の消費電力の状況を明確に把握し、電気の使い方を上手になります。
3. 家庭用電化製品の動作電力を測定し、マークされた電化製品の電力と比較することで、電化製品の漏電による電力異常のリスクをタイムリーに排除できることがわかります。

## メンテナンス

### 1. メンテナンス：

- a. 関連するメンテナンス規定については、メンテナンスカードを参照してください。
- b. ユーザーによる分解、購入後の不適切な輸送や保管、必要とされない操作、保守カードを勝手に変更したこと、購入証明書がないことなどが原因で製品が破損した場合、当社は保証を行いません。

## LCD ディスプレイとキー

1. 本製品には全部で4つのキーがあります。(図12 参照)
2. LCD ディスプレイ (図13 参照)

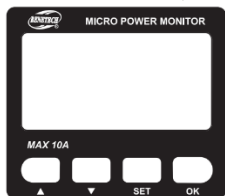


図 12

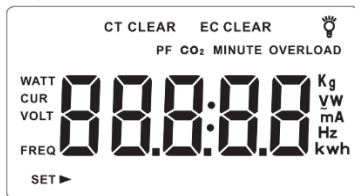


図 13

## 仕様

動作電圧範囲：	100~260V
最大定格電流：	10A
最大電力：	2200W
測定可能範囲：	0.2~2200W
最大累積電気量：	99999KWh
最大累積時間：	99999 分
力率：	0.001~1.000
バックライト機能：	ON/OFF 設定可能
精度：	レベル 1.0
定数：	6400imp / kWh
消費電力：	<1W
動作温度：	0~45°C
保管温度：	-20~60°C
サイズ：	約 60×55.7×120mm
重量：	約 129.6g